

「全国運河サミット in 利根運河」の開催報告

2010年11月7日(日)に「全国運河サミット in 利根運河」～みんなで考えよう!これからの運河の自然・景観・観光～が開催されました。当日は約300名もの人が来場し、会場は熱気に包まれました。簡単に当日の様子をご報告します。



プログラム

| | |
|-------|-------------------------------|
| 12:30 | 開会 |
| 12:40 | 利根運河の取り組み報告 |
| 13:35 | 休憩 (10分間) |
| 13:45 | 基調講演 「運河が拓く生態環境都市の未来」 |
| 14:30 | 先進地の取り組み報告 ～運河を中心とした地域づくり～ |
| 15:15 | 休憩 (10分間) |
| 15:25 | パネルディスカッション 「これからの運河を考える」 |
| 16:45 | 運河サミット共同宣言 |
| 16:50 | 開会 |



本サミットの実行委員長である内山久雄氏より挨拶



江戸川河川事務所所長の高島氏より利根運河の歴史や利根運河エコパーク実施計画の紹介がありました



かしわ環境ステーションの篠崎氏より利根運河と周辺にすむ生きものたちの紹介などがありました



利根運河の生態系を守る会の田中氏より会の活動について紹介がありました



野田市の根本市長より開会の挨拶



利根運河水と緑 21研究会の坂巻氏より、利根運河の畔で行われた歌舞伎の報告などがありました



野田自然保護連合会の石山氏より会に所属する7団体の紹介などがありました



東京都市大学教授の浦井氏より、都市運河の新たな機能として、生態系ネットワークの回廊機能の紹介や利根運河にコウノトリ・トキを呼び戻す計画など運河が拓く生態環境都市の未来について講演がありました



富山県土木部港湾課長の犬野氏より、富岩運河についての紹介がありました



宮城県名取市の佐々木市長より貞山運河の今後の展望などについて紹介がありました



愛知県半田市の榊原市長より半田運河の景観などについて紹介がありました



【共同宣言 (本文)】

運河は偉大な先人たちの叡智と汗の結晶として、幾多の困難を克服し、誕生した。
運河には、それぞれの生い立ちがあり、時の流れの中で、舟運を通じて産業を育み、治水・利水上の役割を担い、人々のくらしとも身近に関わってきた。運河の中には、当時の役割を終えたとして、人々の記憶から忘れられたものもある。

しかしながら、今日、利根運河の畔に集まったわれわれは、成熟社会を迎えた現在、全国各地の運河が環境の時代にふさわしい新たな価値を求めて、運河に関わるさまざまな立場の人々がそれぞれの役割を担いながら、自然や歴史と調和した美しい地域づくりに取り組み、癒しと潤いのある、人々から愛され親しまれる運河を目指していくことを確認することができた。

われわれは、三つの目標を掲げ、連携してその達成に向け努力することを宣言する。

- 一 運河が過去の先人たちからの貴重な贈り物であることを深く胸に刻み、未来への遺産として確かに引き継いでいくことを誓う。
- 二 まちづくりや観光の資源として、さらに多様な生きものの命を育む水辺空間として運



これからの運河のあり方について内山委員長をコーディネーターに招き、3 運河と地元 3 市でパネルディスカッションを行いました。地元 3 市長からは、各市の利根運河に関する取り組み、方向性について紹介がありました。



3Fの会場の様子です。それぞれの話を参加者は熱心に聞いていました



1Fの様子です。たくさんの方が集まりました。

サブイベント 利根運河フットパス・ウォーキングを実施!



利根運河周辺の 3 コースに分かれ、合計 65 人の参加者があり、地元ガイドの案内のもと一歩踏み込んだ地域の魅力にふれあいました。



1Fでは利根運河に関する団体の活動紹介、また全国の運河の特集や招待運河の活動内容のパネル展が開催され、多くの方が興味深く観覧していました

講演者のみなさまです

「全国運河サミット in 利根運河」パネル展について

10月5日（火）から11月28日（日）の間に、関宿城博物館等の施設内で、利根運河の歴史や環境、利根運河に関わる流域団体や自治体の取り組み等を紹介したパネル展示を実施しました。

パネル展には多くの方々が来場され、展示されたパネルを熱心に観覧されていました。



パネル展の様子(東京理科大学カナル会館)